

「日本におけるシチェドリン紹介の歩み」 の 翻 訳 ・ 紹 介 文 献 目 録 補 遺 訂 正

相 馬 守 胤

札幌大学外国語学部紀要「文化と言語」Vol. 16, No. 2 (1983 年 3 月 25 日発行)において、「日本におけるシチェドリン紹介の歩み」と題し、サルティコフ・シチェドリンがわが国においてどのように翻訳、紹介されて来たかについて、単なる書誌的な概観を試みた。これらの資料は今日既に入手困難なものが多いだけに、今後は個々の翻訳作品、紹介記事にわたって概観しながら、わが国におけるロシア文学の紹介、受容の全般的な流れの一環として位置づける必要がある。また、前回掲載したリストも、今回追加するリストも、ただ単に「翻訳」「文献」という大別ではなく、評論、エッセイ、書評等と、文学史、人名辞典等における解説、および、他のロシア作家名と並べて、名前だけを羅列したにすぎない記事等との区別をしたリストに再配列する必要もあろう。しかし、前回のリスト発表以後の2年間に若干追加、訂正すべき資料を入手したので、* 今回もまた年代順に列記するにとどめる。

なお、以下のリストはすべて「文献」のみの目録である。「翻訳」については、出版される予定であった作品がその後2、3冊出版された程度で、1922年発表されたはずの丸山政雄訳『幻影』** がいまだに入手のすべもなく、過去にさかのぼって新たに発見された翻訳作品の追加は、現在までのところ皆無である。

* 前回の目録と同様に、これらの資料の大半はナウカ株式会社の村野克明氏による克明なる集書に負うところ大であった。

** これは改造社(1932年12月)発行「現代日本文学大年表」p. 424の誤記によるもので、この作品はアンドレーエフ作、かつ掲載誌は「主婦之友」ではなく「ロシア文学」第8号(1922年7月)と思われる。

1985 年現在のシチェドリン作品翻訳紹介リスト

(追加分のみ)

1. 翻 訳 なし。

2. 文 献

長澤武雄訳。「露西亜文学」V. 2, No. 4 附録『千九百十年の露西亜文学』
p. 95。露西亜文学社（編集者兼発行者 米川正夫）。1911 年（明治 44 年）4
月。
。

井口杜村訳。『ロシア文学に於けるトルストイの地位』。「六合雑誌」p. 31。
統一基督教弘道会。1914 年（大正 3 年）4 月。〔訳者あとがきによると、こ
の一文はロンドン帝室史学協会名誉会員、エジンバラ大学フランス部門の学
長、英人チャールス・サロリア著「トルストイ伝」巻頭の緒論〕。

片上伸著。『ロシアの現実』p. 188。至文堂。1919 年（大正 8 年）5 月。

昇曙夢。『近代露西亜文学の主潮』。「中央文学」第五年第一号 p. 72, 73,
76, 77, 83, 84, 143, p. 163（肖像画）。1921 年（大正 10 年）1 月。〔p. 163 の
肖像画はクラムスコーイが描いた油絵の写真で、これが本邦における最も早
い肖像の紹介と思われる〕。

佐野學著。『主義学説の字引』p. 499。誠文堂。1928 年（昭和 3 年）6 月。

山内封介著。『ロシア文学史』p. 118, 123, 145；「ロシア文豪の生死並に著
作年表」p. 5, 8, 13, 15。金星堂。1928 年（昭和 3 年）10 月。

新居格訳。『クロボトキン全集』第 9 巻 p. 374-379。春陽堂。1928 年（昭

和3年）12月。

末川博。『現代露西亞法律思想』。岩波講座「世界思潮」第10冊 p. 414-415。岩波書店。1930年（昭和5年）3月。

「世界文学講座」第9巻『露西亞文学篇』p. 35, 36, 37, 39, 47, 54-55（昇曙夢）；p. 188-189（米川正夫）。新潮社。1930年（昭和5年）4月。

世界戯曲全集刊行会。『世界戯曲史』露西亞篇（八住利雄）p. 419-420。1930年（昭和5年）12月。

マキシム・ゴリキイ。村上啓夫訳。『新しい人間を作る』。「唯物論研究」第17号 p. 388。唯物論研究会機関誌。1934年（昭和9年）3月。

エス・マラホフ。能勢陽三訳。『ツルゲーネフのリアリズムに就て』。「唯物論研究」第23号 p. 380, 381。唯物論研究会機関誌。1934年（昭和9年）9月。

昇直隆（曙夢）著。「露西亞縦横記」, 9『文壇人国記』p. 173, 174。章華社。1934年（昭和9年）11月。

三浦曠。『ドストイェフスキイとサルティコフ・シチェードリン』。中山省三郎編「ドストイェフスキイ」p. 84-90。三笠書房。1934年（昭和9年）12月。〔後記によると、この本は昭和8年10月—9年9月にかけて10冊出版された『書物』の特輯号に若干訂正増補したもの〕。

米川正夫（翻訳代表者）。「世界短篇傑作全集」第4巻。『露西亞短篇小説概説』p. 11-12。河出書房。1936年（昭和11年）4月。

小熊秀雄。『諷刺作家シチェドリンに就いて』。大倉高商新聞。1937年（昭和12年）4月。〔「小熊秀雄評論集」p. 66-70, 127-128, 202, 203。思潮社。1966年（昭和41年）9月。「小熊秀雄全集」第4巻 p. 310-313。創樹社。1977年（昭和52年）10月〕。

ガルシン作。神西清訳。『紅い花』解説 p. 124。岩波文庫。1937年（昭和12年）9月。

窪川鶴次郎。『諷刺文学論』。「現代文学論」p. 183, 203。中央公論社。1940年（昭和15年）2月（第5版）。〔初版は昭和14年11月。後記によれば昭和9—11年執筆〕。

イリフ＝ペトロフ合作。上田進訳。『黄金の仔牛』。「現代世界文学叢書1」p. 529（訳者のあとがき）。中央公論社。1940年（昭和15年）6月。

メレシコフスキイ著。中山省三郎訳。「永遠の伴侶」下巻。『露西亜史と露西亜文化』p. 265, 266。小山書店。1941年（昭和16年）5月。

山室静著。『世界文学』p. 229。伊藤書店。1943年（昭和18年）9月。

アー・カダショーフ著。坂間重吉訳。『ロシア文学概論』p. 335, 336。紀元社。1944年（昭和19年）1月。

岩上順一著。『「戦争と平和」論』p. 247。河出書房。1946年（昭和21年）11月。

ドレイデン編。蔵原惟人，杉本良吉，外村史郎，黒田辰男訳。『レーニンと芸術』p. 114-117。社会書房。1947年（昭和22年）1月。〔あとがきによ

れば、元々は1930年に「マルクス主義芸術理論叢書」の中の一冊として発行されたものであり、1947年版はその「復版」]。

黒田辰男著。『ロシア文学史』p. 24, 149-150, 152-153, 171-172, 198-199。
創芸社。1948年（昭和23年）5月。

佐々木基一・荒正人・中田耕治・斎藤正直・野間宏・平田次三郎・埴谷雄高・福田裕。『チェホフ討論会Ⅱ』。「近代文学」1948年（昭和23年）11月号 p. 33-34。近代文学社。

桑原武夫著。「文学入門」（岩波新書）『世界近代小説五十選』p. 180。岩波書店。1950年（昭和25年）5月10日第1刷発行，同年9月15日第5刷発行。〔本書第5刷では，50篇中，ロシア文学8篇，その中に「ゴロヴリョフ，家の人々」（岩波文庫）が含まれている。ロシア文学に関しては，後に出た28刷と同様，除村吉太郎に相談してリストを作成したが，「除村氏からはく革命後の代表作として，ショーロホフの『静かなドン』を，ぜひ入れたかったが，完訳されていないので割愛する」むね附記されたい，と申し出があった」と断り書きあり〕。

本多秋五（著作者代表）。『討論の形式によるロシア作家研究』p. 241-242（佐々木基一）。早川書房。1950年（昭和25年）9月。〔あとがきによれば，これは1948年（昭和23年）6月以降，雑誌「近代文学」に6回にわたって連載したロシア作家研究討論会を集録したもので，一本にまとめるにあたって，すでに発表の分に再検討を加え，雑誌には紙面の都合で割愛しなければならなかった部分を補足したものである〕。

中島健蔵・岩上順一監修。「近代文学12講」第5講「ロシアの初期レアリズム」（岩上順一）p. 132-134『ネクラースフとシチェドリン』。ナウカ社。

1950 年（昭和 25 年）10 月。

舟木重信監修。外国文学研究会編。『教養のための世界文学』p. 187。大村書店。1951 年（昭和 26 年）4 月。

桑原武夫著。『近代文学入門』p. 149, 169。三笠書房。1952 年（昭和 27 年）2 月。〔世界近代小説 50 選（桑原武夫選）中，ロシア文学 8 選の中に「ゴロヴリョフ家の人々」（岩波文庫）が含まれており，かつ，ロシア文学 50 選（神西清選）にも含まれている。同一著者桑原武夫が昭和 25 年 5 月に出版した「文学入門」（岩波新書）では，ロシア文学 8 選の中にシチェドリンの作品は含まれていなかった。かつ，「リスト作成にあたってはそれぞれの部門で中野好夫，生島遼一，大山定一，除村吉太郎，吉川幸次郎の諸氏に相談した。全体の責任はもちろん私にある。原作がいかにもすぐれた必読のものでも，まだ良訳がないもの，または目下入手しにくいものは除いてある」と断り書きがあった〕。

久山康編。『読書の伴侶』p. 181（猪木正道談）。弘文堂。1952 年（昭和 27 年）4 月。〔その後新版が発行され，昭和 39 年 1 月第 1 刷，昭和 45 年 8 月 10 日第 12 刷 p. 241。この発売元は創文社。基督教学徒兄弟団発行〕。

マルセル・エーラー著。神西清訳。『ロシア文学史』（クセジュ文庫）p. 80-81。白水社。1952 年（昭和 27 年）8 月。

中島健蔵監修・安土正夫編集。「近代欧米文学史概説」第 4 篇『ロシアの近代文学』（佐々木彰執筆）p. 243, 254。日本出版協同株式会社。1952 年（昭和 27 年）9 月。

マレンコフ。黒田辰男訳。『諷刺の焰をもって』。「新日本文学」第 8 卷

第1号 p. 174。新日本文学会。1953年（昭和28年）1月。

黒田辰男。『ゴーゴリとシチェドリンを振り返れ』。「新日本文学」第8巻
第2号 p. 62-71。新日本文学会。1953年（昭和28年）2月。

毎日新聞社編。『世界人物事典』（毎日ライブラリー）p. 232。毎日新聞社。
1953年（昭和28年）4月。

花田清輝。「シチェドリン著『大人のための童話』西尾章二訳 / 曇りなく
厳しい眼」。「図書新聞」1954年（昭和29年）2月。〔花田清輝全集〕第4巻
p. 467-469, 578。講談社。1977年（昭和52年）11月〕。

塩田庄兵衛。『諷刺文学を待ち望むの辨』。岩波講座「文学」月報5 p. 8,
9, 10。1954年（昭和29年）3月。

岩波書店編集部編集。『チェーホフ』（岩波写真文庫 41）p. 1, 21。1955年
（昭和30年）3月。

除村吉太郎編。『ロシア文学手帖』p. 87-88（西尾章二執筆）。創元社。
1955年（昭和30年）9月1日。

テレシヨフ。米川和夫・池田晃訳。『回想のロシア文学』p. 139-140。和光
社。1955年（昭和30年）9月10日。

岩上順一著。『モスクワ・北京・文学の旅』p. 223。河出書房。1955年（昭
和30年）9月30日。

エルサ・トリオレット（アラゴン夫人）著。川俣晃自訳。『チェーホフ』

(時代の窓) p. 12, 48。岩波書店。1955年(昭和30年)12月。

イリヤ・エレンブルグ著。篠原茂訳。『チェーホフ——作品を読みなおして——』p. 7, 29, 31, 49, 105, 113。紀伊国屋書店。1960年(昭和35年)1月。

ドンブロフスキー作。工藤幸雄訳。『古代保存官』(「新しいソビエトの文学」3)p. 164, 356-358。勁草書房。1968年(昭和43年)2月。[p. 164に「賢いペスカーリの話は巻末の解説に詳述したので参照されたい」と訳者注あり。巻末の解説には「……〈略〉……この意味で〈賢いペスカーリ〉(第2部第3章)の物語をかいつまんで解説しておく必要がある。サルトゥイコフ・シチェドリーンはこの寓話の小品によって〈弱い知識人〉を諷刺的に描いている。以下はその大要である。(寓話の原文ではペスカーリに代わってピスカーリとある)」と述べて、以下に要約が3ページほど続いている]。

佐藤喜一。『小熊秀雄論考』p. 92-93。北書房(札幌市)。1968年(昭和43年)4月。

トフストノーゴフ著。牧原純訳。『演出家の仕事』上巻 p. 75, 173。理論社。1969年(昭和44年)10月。

トフストノーゴフ著。中本信幸訳。『演出家の仕事』下巻, 巻頭の舞台写真②—⑤, p. 6, 7, 8, 11。理論社。1970年(昭和45年)4月。

M. ホジャート著。山田恒人訳。『諷刺の芸術』p. 63, 232-233, 299-300。平凡社。1970年(昭和45年)9月。

岩間徹編。『ロシア史』(10版24刷)p. 194。山川出版社。1971年(昭和

46年) 4月。

L. トロツキー著。松田道雄・竹内成明訳。『レーニン』p. 71。河出書房新社。1972年(昭和47年)2月。

除村吉太郎。『日本におけるロシア文学翻訳・研究の回顧』。「窓」1号 p. 36, 40。ナウカ株式会社。1972年(昭和47年)7月20日。[この一文の中には「晩年の二葉亭も「ゴーリキーとアンドレーエフの近業」という談話(一九〇七年)で、ゴーリキーは「下火になった」といい、アンドレーエフをむしろ重視している。ネクラソフやシチェドリンはほとんど紹介されず、ツルゲーネフやトルストイの作品がふくむ生々しい社会問題は、ただ文学内の問題、個人の問題としてのみ解釈された。」等々、注目すべき言及が多い]。

蔵原惟人。『奴隷の言葉』。「文化・人・読書」p. 13, 14。光和堂。1972年(昭和47年)11月。[岩波書店発行「図書」1950年4月号初出]。

季刊『パイディア』16 p. 218, 221, 228, 229, 232, 235, 240, 243。竹内書店。1973年(昭和48年)1月。

高橋勝之。『第三次「ロシア文学」と蔵原惟人』。「窓」21号 p. 29。ナウカ株式会社。1977年(昭和52年)6月3日。

B. H. ヴォイノーヴィチ著。安井侑子訳。『兵士イワン・チョンキンの華麗なる冒険』p. 284(訳者あとがき)。パンフィカ。1977年(昭和52年)9月。

花田清輝著。「花田清輝全集」第4巻 p. 467-469。「シチェドリンの諷刺——『大人のための童話』」。講談社。1977年(昭和52年)11月。[「図書新

聞」1954年2月27日初出]。

内村剛介著。『ドストエフスキー』（人類の知的遺産 51） p. 65, 93, 121。
講談社。1978年（昭和53年）5月。

ヴラジーミル・ヴォイノーヴィチ著。安井侑子・長谷川蟻訳。『同志イワ
ニコの偉大なる権力』 p. 35。パシフィカ。1979年（昭和54年）7月。

岩間徹編。『ロシア史（新版）』 p. 335, 378。山川出版社。1979年（昭和
54年）12月。

相馬守胤。『日本におけるシチェドリン紹介の歩み』。札幌大学外国語学部
紀要「文化と言語」 Vol. 16, No. 2, p. 37-51。1983年（昭和58年）3月。

ハリソン・E・ソールズベリー著。後藤洋一訳。『黒い夜白い雪』上巻
p. 97。下巻 p. 302, 303, 304。時事通信社。1983年（昭和58年）4月。

牧瀬菊枝著。『一九三〇年代を生きる』 p. 61, 130-131。思想の科学社。
1983年（昭和58年）11月。

相馬守胤。『嘆きのシチェドリン』。「未来」 No. 207, p. 10-13。未来社。
1983年（昭和58年）12月。

萩原俊治。『『地下室の手記』とサルトウイコフ・シチェドリン』。「むら
ぎ」創刊号 p. 107-120。ロシア・ソヴェート文学研究会（編集代表 法橋和
彦）。1984年（昭和59年）1月。ー

札幌大学校友会会報第17号 p. 12。Bookガイド。1984年（昭和59年）
3月5日。

キム・レーホ。箕浦達二訳。『ゴーゴリの笑いと日本文学の伝統』。季刊「ソヴェート文学」No. 87, p. 224, 228。群像社。1984年(昭和59年)3月15日。

P. クロポトキン著。高杉一郎訳。『ロシア文学の理想と現実』(岩波文庫)上 p. 6, 271, 下 p. 234-239。岩波書店。1984年(昭和59年)4月。

渡辺雅司。『メーチニコフと岩倉使節団——メーチニコフ伝への覚書』。「えうゐ」13号 p. 47-48, 50。えうゐ編集委員会。1984年(昭和59年)10月15日。

『露西亜人の欺誕』。「国民之友」第6巻第71号 p. 32。1890年(明治23年)1月23日発兌。第6巻第73号 p. 29。1890年(明治23年)2月13日発兌。〔現在までに判明した限りにおいて、この記事(筆者不詳)はわが国における最も早いシチェドリン紹介。シチェドリン死去の翌年である。なお、第71号ではスクトスチエトリン、第73号ではスクッチェドリンとあるが、これらはいずれも、現在わが国で言いならわされているシチェドリンのことで、フランス式、英米式などの翻字法で表記された Chtchedrin, Schtschedrin などからの翻訳と思われる〕。

昇曙夢。『露国の文学』。教育学術研究会編「露国研究」p. 273, 275, 278, 279, 281, 283, 293。同文館雑誌部。1916年(大正5年)9月。

浅野良吉編。『露西亜文学一月暦』。「露西亜文学」第2巻第1号 p. 63。露西亜文学社。1919年(大正8年)1月1日。

セルゲイ・ペルスキイ著。杉井豊訳。『露国現代作家論』。「日本及日本人」第773号「大正九年元旦号」第1章「ロシア文学概観」p. 256-257。政教社。1919年(大正8年)12月。

エス・アー・ウエンゲロフ。鳴海完造訳。『近代露西亜文学の基調』。「ロシア文学」第5号 p. 22, 34。露西亜文学研究会出版部。1922年（大正11年）4月。

セルゲイ・パースキー著。林雪雄訳。『チェホフとコロレンコウ』。序「ロシア文学の概観」p. 11-12。下出書店。1922年（大正11年）4月。〔「訳者小序」によれば「これはセルゲイ・パースキーの『現代ロシア小説家』の最初の三章を訳したもの」, 「原書は1910年若しくは11年前半に書かれたやうに推察せられます」〕。

「露西亜文学叢書発刊に就て」（広告）。「ロシア文学」第10号 p. 134。「第十編 クルトゴルスク（短篇集）サルツイコフ 八杉貞利」。露西亜文学研究会。1922年（大正11年）10月1日。

ウエトリンスキイ。八杉貞利訳。『六十年代の露西亜文学（抄訳）』。「ロシア文豪名作選集」p. 159-160。露西亜文学研究会。〔奥附欠落により発行年月日不詳〕。

蔵原惟人。『自然主義文学の消長』。「文芸戦線」。1927年（昭和2年）3月。〔「日本プロレタリア文学大系」2, p. 226。三一書房。1954年（昭和29年）9月第1刷〕。

川口浩。『否定的リアリズムについて——プロレタリア文学の一方向——』。「文学評論」（ナウカ社）特輯号。1934年（昭和9年）4月。〔「日本プロレタリア文学大系」7, p. 355。三一書房。1955年（昭和30年）4月第1刷〕。

ア・レエイチエス。青伍介訳。『チェーホフ的テーマの発展』。「書物」第2年第9冊 p. 36。三笠書房。1934年（昭和9年）9月1日。

ア・ルナアチャルスキイ。神崎與一訳。『チェホフは我々にとって如何なる位置にあるか』。「書物」第2年第9冊 p. 18, 26。三笠書房。1934年（昭和9年）9月1日。

吉江喬松編集。『世界文芸大辞典』第3巻 p. 409-410（岡澤秀虎担当。資料リストは木寺黎二担当）。中央公論社。1936年（昭和11年）8月。

伊藤整。『諷刺の発想』。「文学」Vol. 20, No. 7, p. 6。岩波書店。1952年（昭和27年）7月。

除村吉太郎。『社会主義リアリズム』。岩波講座「文学」第8巻 p. 320, 323, 327, 328。岩波書店。1954年（昭和29年）6月。

斎藤勇（主幹）。『研究社世界文学辞典』p. 394（中村融担当）。研究社辞書部。1954年（昭和29年）10月。

西尾章二。『シチェドリンの諷刺と現代』。「新日本文学」Vol. 12, No. 11, p. 130-134。新日本文学会。1957年（昭和32年）11月1日。

編集責任者 秦一郎，松浪信三郎。『新訂世界文芸辞典 西洋篇』p. 253（横田瑞穂担当か）。東京堂。1959年（昭和34年）10月。

工藤直太郎著。『ヨーロッパ文芸史』p. 338-339。早稲田大学出版部。1961年（昭和36年）9月。

谷山茂編。『日本と世界の人名大辞典』p. 293（執筆者無署名）。むさし書房。1964年（昭和39年）8月。

シクロフスキイ・ヤコブソン・エイヘンバウム他。新谷敬三郎・磯谷孝編

訳。『ロシア・フォルマリズム論集』（ロシア群書）p. 96。現代思潮社。1971年（昭和46年）9月。

M. ヘイワード, L. ラベッツ共編。島田陽・高野雅之訳。『文学の屈従』p. 24-25, 32, 174, 234。国文社。1972年（昭和47年）11月。

三省堂編集所編。『コンサイス人名辞典外国篇』p. 339-340（執筆者無署名）。三省堂。1976年（昭和51年）3月。

渡辺一民監修。『ポケット世界名作事典』p. 171（「ゴロヴリョフ家の人々」の梗概，執筆者不詳）。平凡社。1981年（昭和56年）10月。

加藤周一（編集長）。『平凡社大百科事典』第6巻 p. 915（左近毅執筆）。平凡社。1985年（昭和60年）3月。

日本におけるシチェドリン紹介の歩み

（札幌大学外国語学部紀要「文化と言語」Vol. 16, No. 2）

正 誤 表

ページ	誤（または旧）	正（または新）
40	八杉貞利訳。『請願人』（『火事』……（大正13年）。	八杉貞利訳。『請願人』（『請願人』『火事』……（大正13年）。『飢饉』の初出は「ロシア文学」第7号（大正11年6月1日），第8号（大正11年7月1日）。『クルトゴルスク』の初出は同第5号（大正11年4月1日）であるが，「ロシア文学」第5号と第6号を合本したと思われる「露西亜新作家選集」（露西亜文学研究会，大正11年10月1日発行）p. 130-138にも収録されている。

「日本におけるシチェドリソ紹介の歩み」
の翻訳・紹介文献目録補遺訂正 (相馬守胤)

41	相馬守胤訳。『国外にて』……近刊。	相馬守胤訳。『国外にて』…… 1983年(昭和58年)10月。
41	西尾章二・相馬守胤訳。『僻地の旧習』(上)……未刊。	西尾章二・相馬守胤訳。『僻地の旧習』(上)……1984年(昭和59年)12月。
42	森鷗外。『人生の瑣事』。……「国民の友」……】。	森鷗外。『人生の瑣事』。……「国民の友」……】。
42	ピーター・クロボトキン著。馬場孤蝶・森下岩太郎・佐藤緑葉共訳。『露西亜文学の理想と現実』 p. 442-447「諷刺文学, サルチイコフ」。アルス。1920年(大正9年)。	ピーター・クロボトキン著。馬場孤蝶・森下岩太郎・佐藤緑葉共訳。『露西亜文学講話』アルス。1920年(大正9年)6月。〔大正14年版(第8版)『露西亜文学の理想と現実』 p. 442-447「諷刺文学, サルチイコフ」。大正14年7月〕
42	米川正夫。菊池寛監修。『ロシア文学思潮』第13章。三省堂。……	米川正夫。『ロシア文学思潮』第13章 p. 204-207。三省堂。……
42	林達夫。『諷刺小説……「思想の運命」 p. 235】。	林達夫。『諷刺小説……「思想の運命」 p. 235】。
44	クロボトキン著。伊藤整訳。『ロシア文学の理想と現実』……〔本書はかつて大泉黒石・馬場孤蝶・森下雨村……出版した】。	クロボトキン著。伊藤整訳。『ロシア文学の理想と現実』……〔訳者伊藤整によれば、本書はかつて大泉黒石・馬場孤蝶・森下雨村……出版した由であるが、大泉黒石訳の存在は確認されず、また、森下雨村は森下岩太郎の名で出版されている】。
44	『原典による世界文学史』……	中島健蔵編。『原典による世界文学史』……
44	ゴーリキー著。山村房次訳。『ロシア文学史』上巻 p. 52, 71, 298, 330, 355, 下巻 p. 508, 513, 523, 539, 617, 630, 651, 653, 680, 692, 695。……	ゴーリキー著。山村房次訳。『ロシア文学史』上巻 p. 52, 71, 298, 301, 330, 351, 355, (409), 下巻 p. 508, 513, 523, 539, 617, 630, 651, 653, 680, 682, 689, 690, 691, 692-693, 695, (752), (758), (769), (770)。〔()内は注にあたるページ〕。

48	相馬守胤。『シCHEDリンに 思うこと』。「窓」No. 35……（昭和55年）。	相馬守胤。『シCHEDリンに 思うこと』。「窓」No. 35……（昭和55年）12月25日。
49	工藤幸雄。……1981年（昭和56年）10月18日号。	工藤幸雄。……1980年（昭和55年）10月18日号。